

2018春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 46

2018年3月7日

日本鉄道労働組合連合会

JREユニオン 第1回団体交渉

# ベア方式・規模は 労使交渉で行う基本認識を確認 業績の公正配分で満額回答を求める

JREユニオンは、3月5日、第1回団体交渉を開催し「賃金引き上げの要求について（申第5号）」に対する趣旨説明を行った。

冒頭、ベアの実施にあたっては、成果配分・社会状況の変化・生活維持向上分などを考慮し、毎年その都度、ベアの方法と規模は労使交渉で行うとの基本認識を労使で確認した。そのうえで、組合からは、第3四半期連結決算で過去最高の業績をあげていることと併せ、更なる安全とサービスの追求と収益力向上への挑戦を労使でめざさなければならないと主張するとともに、業務の効率化等に頑張っている社員の期待に応えるべく、業績の公正な配分を求めた要求に対して満額回答で応えることを迫った。

これに対し会社は、社員の大雪や安定輸送の取り組みに謝意を示すとともに、「中長期的に生産性向上に関する成果の配分を加味しながら、労使間の協議を大切に決定したい。スケジュール感を大切に早期合意に臨んでいきたい」との考え方を示した。